

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	疫 病	べ と 病	苗 立 枯 病	葉 枯 病	萎 凋 病	黄 斑 病	黒 斑 病	さ び 病	白 絹 病	灰 色 か び 病	小 菌 核 腐 敗 病	小 菌 核 病	ポ ト リ チ ス 葉 枯 症	黒 腐 菌 核 病	黒 穂 病	軟 腐 病	
イオウFL	☆	☆	☆	M2		*1	-									◎									
スターナ水	☆			31		7	3																		◎
トップジンM水	☆			1		7	3												◎						
	☆					*a	1					◎							◎						
トップジンM粉DL	☆			1		7	3												◎						
ベンレート水	☆			1		30	1												◎						
	☆					*a	1					◎							◎						
		☆				*i	1					◎													
ハチハチ乳	☆			39	劇	7	2			◎							◎								
アフエットFL	☆			7		*k	2											◎					◎		
						1	2					◎		◎	◎	◎			◎						
カナメFL	☆			7	劇	1	4					◎		◎	◎	◎			◎				◎		
パレード20FL	☆			7		*h	1	苗															◎		
						1	3					◎		◎	◎	◎			◎				◎		
モンカットFL40	☆			7		*b	3											◎							
モンカット粒	☆			7		*b	3											◎							
アミスター20FL	☆		☆	11		3	4			◎	◎		◎	◎	◎										
		☆				7	4			◎			◎	◎	◎										
ストロビーFL	☆			11		7	3							◎	◎										
		☆				21	2											◎							
ファンタジスタ顆水	☆			11		7	3					◎		◎	◎				◎						
メジャーFL	☆			11		1	3			◎	◎			◎	◎	◎									
ランマンFL	☆			21		3	4			◎															
		☆				3	3			◎															
フロンサイド粉	☆			29		*c	2											◎		◎					
フルピカFL	☆			9		7	4													◎					
セイビアーFL20	☆			12		1	3											◎		◎				◎	
		☆				3	3												◎						
スミレックス水	☆			2		21	3												◎				◎		
ロブラール水	☆			2		14	3								◎		◎		◎			◎		◎	
		☆	☆												◎				◎			◎		◎	
リゾレックス水	☆			14		*e	3											◎							
リゾレックス粉	☆			14		*f	3											◎							

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	疫 病	べ と 病	苗 立 枯 病	葉 枯 病	萎 凋 病	黄 斑 病	黒 斑 病	さ び 病	白 網 病	灰 色 か び 病	小 菌 核 腐 敗 病	小 菌 核 病	ボ ト リ チ ス 葉 枯 症	黒 腐 菌 核 病	黒 穂 病	軟 腐 病					
オンリーワンFL	☆	☆	☆	3		14	3								◎	◎													
サブロール乳	☆			3		1	5									◎													
トリフミン水	☆			3		*a	1					◎																	
モンガリット粒	☆			3		*e	3									◎													
						*k	3										◎												
						*e	3																		◎				
						*j	1	土																					◎
ラリー水	☆	☆	☆	3		7	3										◎												
						14	3													◎									
ラリー乳	☆			3		14	3										◎												
ポリオキソAL水	☆			19		14	3							◎															
フェスティバル水	☆			40		14	3			◎																			
レーバスFL	☆			40		7	2			◎																			
オリゼメート粒	☆			P2		*b	2																		◎				
		☆				*g	1																				◎		
			☆			*b	1																					◎	
アリエッティ水	☆	☆		P7		3	3		◎	◎																			
ピシロックFL	☆			U17		1	3			◎																			
バリダシン液5	☆			U18		*j	1				®																		
						1	2												◎									◎	
ヨネボン水	☆	☆	☆	M1		7	4			◎					◎	◎									◎				
ジマンダイセン水	☆			M3		14	3			◎					◎	◎													
ベンコゼブFL	☆			M3		14	3			◎					◎	◎													
ダコニール1000FL	☆			M5		14	3			◎		◎			◎	◎				◎									
		☆				14	2					◎	◎			◎	◎				◎								
	☆	☆				*d	1						®																
ベルコート水	☆			M7		30	3				◎				◎	◎													
シグナムWDG	☆			7・11		7	3			◎					◎	◎													
ユニフォーム粒	☆			4・11		*m	1			◎						◎	◎												
リドミルゴールドMZ顆水	☆			4・M3		14	3			◎																			
フォリオゴールドFL	☆			4・M5		14	3			◎																			
						14	2				◎																		
カセット水	☆			31・24		14	2																		◎				

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機構分類コード	人畜毒	使用時期(日数)	使用回数	使用条	疫病	べと病	苗木立枯	葉枯病	萎病	黄斑病	黒斑病	さび病	白網病	灰色かび病	小菌核腐敗病	小菌核病	ボトリチス葉枯病	黒腐菌核病	黒穂病	軟腐病		
ナレート水	☆			31・M1		14	3																		◎	
ベジセイパーFL	☆			7・M5		14	2			◎		◎				◎	◎	◎		◎						
アミスターオブティFL	☆			11・M5		14	3			◎		◎		◎	◎	◎				◎						
ダイナモ顆水	☆			21・27		3	4			◎																
ドーシャスFL	☆			21・M5		14	3			◎						◎										
ザンプロDMFL	☆			45・40		14	3			◎																
カスミンボルドー水	☆			24・M1		14	2																			◎
テーク水	☆			3・M3		14	3			◎		◎				◎	◎									
ダイアメリットDF	☆			19・M7		30	3									◎	◎									
ポリバリン水	☆			19・M7		14	3				◎			◎	◎					◎						
ベトファイター顆水	☆			40・27		14	3			◎																
カンパネラ水																										
ベネセット水	☆			40・M3		14	3			◎						◎										
カーニバル水	☆			40・M5		14	3			◎						◎	◎									
プロボーズ顆水	☆			40・M5		14	3			◎		◎														

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。

*a:定植直前 *b:土寄せ時(但し収穫30日前まで) *c:土寄せ時(但し収穫21日前まで)

*d:出芽揃い後(出芽3日後～10日後まで) *e:土寄せ時(但し収穫14日前まで)

*f:土寄せ前(但し収穫14日前まで) *g:生育期(但し収穫35日前まで) *h:育苗期後半～定植当日

*i:植付前 *j:は種時 *k:生育期(但し収穫14日前まで) *l:発病前～発病初期

*m:土寄せ時(但し収穫45日前まで)

◎:リゾクトニア菌による病害

苗:セル成型育苗トレイまたはベーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は、土耕栽培による苗には使用できない。

土:土壌表面散布

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
スピノエース顆水	☆	☆	☆	5		3	3		◎				◎						
フローバックDF	☆			11A		*b	-						◎						
スラゴ	*2	*2	*2	UN		*L	-											ナ	
バイオセーフ	☆			-		*h	-											ク	
カルホス粉	☆	☆	☆	1B		*d	2								◎				
カルホス微粒F	☆			1B	劇	*f	1								◎				
	☆					*a	1								◎				
		☆	☆			*d	2									◎			
サイアノックス乳	☆			1B		21	2		◎										
ショットガン乳	☆	☆		1B	劇	21	2												
			☆			30	2				ギ								
ダイアジノン乳40	☆	☆		1B	劇	21	2		◎	◎	ネ		◎		◎				
			☆			30	2			◎	◎	ネ		◎		◎			
ダイアジノン粒5	☆	☆	☆	1B		*d	2										◎		
ダイアジノン粒10	☆	☆	☆	1B	劇	*f	1				◎								
ネキリエースK粒	☆			1B		30	2								◎				
マラソン乳	☆			1B		7	6		◎	◎	ハ								
ラグビーMC粒	☆			1B		*s	1										◎	コ	
アグロスリン乳	☆			3A	劇	7	5		◎	◎	ネ		◎	◎					
		☆				3	2			◎	◎	ネ		◎	◎				
アディオン乳	☆			3A		7	3		◎				◎	◎					
テルスター水	☆			3A		7	2						◎						
トレボン乳	☆			3A		21	2						◎						
フォース粒	☆			3A	劇	*a	1								◎		◎	ク	
	☆					30	1										◎		ク
アクタラ顆溶	☆	☆		4A		3	3			ギ	ネ								
アクタラ粒5	☆	☆	☆	4A		*a	1			ギ	ネ								
	☆					*f				ギ									
アドマイヤーFL	☆			4A	劇	*g	1	苗	◎	ネ								ク	
	☆					14	2			◎									
		☆	☆			3	2			◎									
アドマイヤー1粒	☆	☆	☆	4A		*a	1		◎										
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	☆	☆		4A		3	2		◎										
	☆					*g	1	苗	◎	◎	◎		◎	◎					
	☆					*j	1	灌	◎	◎	◎								ト
		☆				*j	1	灌	◎	◎	◎								

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	使用 条件	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
アルバリン粒 スタークル粒	☆			4A		*f	1		◎	◎									
	☆				*a	1		◎	◎										
	☆				*p	2		◎	◎										ク
		☆			*c	1		◎	◎										
ダントツ粒	☆			4A		*a	1		ギ	ネ	◎								
	☆				*f	1		ギ	ネ										
	☆	☆	☆		3	4		ギ	ネ									◎	
					1	3		ギ	ネ										ク
ベストガード粒	☆			4A		*f			ギ	ネ									
	☆				*r	1	△	ギ											
	☆				*a			ギ	ネ										ク
					1	3		ギ	ネ										
		☆	☆		*a	1		ギ	ネ										
ベニカ粒	☆			4A		*a	1		ギ	ネ	◎								
	☆				*f	1		ギ	ネ										
	☆	☆	☆		3	4		ギ	ネ										
ベニカ溶	☆	☆	☆	4A		3	4		ギ	ネ									
モスピラン顆溶	☆	☆	☆	4A	劇	7	3		◎	◎									
モスピラン粒	☆	☆	☆	4A		*f			ギ	ネ									
	☆	☆	☆		*a	1		ギ	ネ										
	☆				*m			ギ	ネ										
ディアナSC	☆			5		1	2		◎	ネ		◎	◎						
アグリメック乳	☆			6	劇	3	3		◎	ネ									
アニキ乳	☆			6		3	3		ギ	◎		◎	◎						
アフーム乳	☆			6		7	3			◎		◎							
		☆	☆										◎						
コルト顆水	☆			9B		3	3		◎	ギ	ネ								
コテツFL	☆			13	劇	7	2			ネ		◎	◎					ヒ	
パダンSG溶	☆			14	劇	1	2		◎	◎								ク	
リーフガード顆水	☆	☆	☆	14	劇	7	2		ギ	ネ			◎						
アタブロン乳	☆	☆	☆	15		21	3		ギ			◎							
カスケード乳	☆			15		14	3		ギ	ネ		◎						ク	
ノーモルト乳	☆			15		7	2					◎							
マッチ乳	☆			15		7	3		ギ			◎							
		☆			21	3						◎							
アプロードFL			*3	16		*t	1											◎	
	☆				14	灌													◎

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	タマネギバエ類	タマシヨトウ	ネギコガ	ネギリムシ類	コガネムシ類	ネダニ	その他害虫
ファルコンFL	☆			18		1	2						◎					
マトリックFL	☆	☆	☆	18		7	3						◎					
ロムダンFL	☆			18		7	3						◎					
ハチハチ乳	☆			21A	劇	7	2		◎	◎	ネ		◎	◎				ク
トルネードエースDF	☆			22A		14	2						◎					
フェニックス顆水	☆			28		7	3						◎	◎				
プリロツ粒オメガ	☆			28		1	3			◎	◎							
プレバソンFL 5	☆			28		*Q	1	苗				◎						
	☆						3	3					◎	◎				
ベネビアOD	☆			28		1	3		◎	◎			◎					
ベリマークSC	☆			28		*Q	1	苗	◎	◎	◎	◎	◎		◎			
	☆						7	1	灌	◎	◎			◎	◎			
ヨーバルFL	☆			28		*Q	1	苗		ギ	◎							
	☆						3	3			◎	◎		◎	◎			
アクセルFL	☆			22B		1	2						◎					
アクセルバイト	☆			22B		1	2								◎			
ウララDF	☆			29		1	3			ギ								
グレーシア乳	☆			30		7	2		◎	◎			◎	◎				ク
プロフレアSC	☆			30		1	3			ネ			◎	◎				
ファインセーブFL	☆			34	劇	3	2		◎	ネ								
		☆	☆				1	2		◎	ネ							
プレオFL	☆			UN		3	4			ギ			◎					
キックオフ顆水	☆			4A・28		*g	1	苗	◎	◎			◎					ク
ジュリボFL	☆			4A・28		*Q	1	苗		ギ	ネ	◎	◎		◎			◎
ミネクトデュオ粒	☆			4A・28		*k	1			◎	◎	◎	◎		◎			
						*a				◎	◎	◎			◎			
							3	3			◎	◎			◎			
ダブルシューターSE	☆			5・-		3	3		◎	ネ		◎						
アフームエクセラ顆水	☆			6・15		7	3			ギ	ネ		◎					

ネギ・ワケギ・アサツキ

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。
 *2:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録。
 *3:伏せ込み栽培

ネギ、ワケギ、アサツキ*¹ (野菜類の登録農薬も使用できる)

- *a: 定植時
- *b: 発生初期(但し収穫前日まで)
- *c: 生育期(但し収穫21日前まで)
- *d: 播種時又は定植時
- *e: 土寄せ前 (但し収穫30日前まで)
- *f: 播種時
- *g: 定植前日～定植時
- *h: 幼虫発生期
- *j: 生育期(但し収穫14日前まで)
- *k: 育苗期後半
- *L: 発生時
- *m: 定植前日～定植当日
- *p: 生育期 (但し収穫3日前まで)
- *Q: 育苗期後半～定植当日
- *r: 定植当日
- *s: 定植前
- *t: 植付時

ギ: ネギアザミウマ

ク: クロバネキノコバエ類

コ: ネコブセンチュウ

ト: トビイロヒョウタンゾウムシ及びクロバネキノコバエ類

ナ: ナメクジ類及びカタツムリ類

ネ: ネギハモグリバエ

ハ: ネギハモグリバエ (但し一部の商品にはハモグリバエで登録あり)

ヒ: ヒョウタンゾウムシ類

灌: 生育期に株元灌注する

苗: セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は土耕栽培による苗には使用できない。

△: セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	春まき	[栽培期: 1月~4月, 発生期: 1月~4月]										
	さび病	[発生期: 3月~11月]										
	黒斑病	[発生期: 5月~9月]										
	秋まき	[栽培期: 9月~12月, 発生期: 9月~12月]										
虫 害	アブラムシ類	[発生期: 7月~9月]										
	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	[発生期: 5月~11月]										

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期
病害虫発消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 雨よけ栽培を行う。 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 アリエッティ水和剤★ 800倍 ジマンダイセン水和剤☆ 600倍 ダコニール1000(FL)★ 1000倍 リドミルゴールド MZ(顆水)☆● 1000倍 全身感染している株は、早期に抜きとって処分する。 	秋及び春の2回発生するが、特に4~5月に降雨日が多いと発生しやすい。 ネギのほかタマネギ、ワケギ、ノビルなどに発生するが、ラッキョウ、ニラ、アサツキなどにはほとんど発生しない。
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
黒斑病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。 発病を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ストロビーフロアブル☆ 2000倍 ダコニール1000(FL)★ 1000倍 ポリオキシシンAL水和剤☆ 1000倍 ロブラール水和剤 1000~1500倍 	5~11月かけて発生するが、特に梅雨期および秋季に高温で降雨の多い年に多発する。
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	定植前	1. 肥料切れをしないよう肥培管理に注意する。 2. 雨よけ栽培を行う。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、アサツキなどに発生する。5～6月と9～10月に降雨が多いと発生しやすい。薬剤散布の際は展着剤を加用する。 #1 Q o I 剤に深達性展着剤を使用すると薬害を生じる場合がある(展着剤の項参照)。 ● DMI 剤は耐性菌を生じる恐れがあるので連用しない。 #2 ネギとワケギ、アサツキで使用日数が異なるので注意する。
	定植後	・発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル#1、#2 2000倍 ストロビーフロアブル☆#1 2000倍 テーク水和剤☆● 600倍 オンリーワンフロアブル● 1000倍 ラリー水和剤●#2 2000倍	
黒腐菌核病	播種前	・強酸性の畑は消石灰を10 a 当り120kg施用する。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ラッキョウ、ニラなどに発生する。11～12月および3～4月頃に発生する。 低温、多湿時に発病が助長される。
	定植時	・発病床の苗は定植しない。	
	生育期	・発病株は早期に処分する。	
小菌核腐敗病	定植時	・定植直前に次の薬剤のいずれかに30分間根部浸漬をする。 トップジンM水和剤☆#1 200倍 ベンレート水和剤☆#2 500倍	#1 チェーンポットで育苗している場合は、1冊(30×60cm、使用土壌約5ℓ)あたり250倍液を0.5～1ℓ苗床灌注する。 #2 セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している場合は、1箱又は1冊(30×60cm、使用土壌約5ℓ)あたり500ml 灌注する。
	生育期	1. 発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 フルピカフロアブル☆ 2000倍 ベンレート水和剤☆ 1000～2000倍 ポリバリン水和剤☆ 1500倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍 2. 発病株は早期に処分する。	
ポトリチス葉枯症	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	ネギのほかタマネギ、ニラ、ラッキョウ、スイセンなどに発生し、アブラムシ類によって媒介される。 石倉ネギ、晩ネギなどは耐病性が高い。
	苗床期～生育期	1. 苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。 2. 無病苗を選別し定植する。 3. アブラムシ類の項を参考に防除する。	
アブラムシ類	苗床期	1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきネギでは発芽揃～6月上旬、秋まきネギでは発芽揃～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 苗床に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 2000～3000倍	4～6月および9～11月に高温乾燥が続くとアブラムシ類が多くなり、多発する。
	生育期	1. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 2000～3000倍	
ネギアザミウマ	定植時	1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。 2. 次の薬剤のいずれかを植溝に施用し、土壌混和する。 ベストガード粒剤☆ 6kg/10a モスピラン粒剤 6kg/10a	夏期が高温乾燥の時に多発する。(問題になっている病害虫の生態と防除-ネギアザミウマの項参照)
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★# 2000倍 アディオン乳剤☆# 3000倍 アルバリン顆粒水溶剤★# 2000倍 スタークル顆粒水溶剤★# 2000倍 スピノエース顆粒水和剤# 2500～5000倍 ダイアジノン乳剤40# 700～1200倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 ディアナSC☆# 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ネギハモグリバエ	播種または定植時 生育期	<p>・次の薬剤を施用する。 モスピラン粒剤#1 6 kg/10 a</p> <p>1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤☆#2 1000倍 アルバリン粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10 a スタークル粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10 a ダイアジノン乳剤40 1000~2000倍 ダントツ水溶剤 2000~4000倍 ディアナSC☆ 2500~5000倍 プレバソンフロアブル5☆#2 2000倍</p>	<p>#1モスピラン粒剤は、播種時は播溝、植付時には植溝に施用し土壌混和する。</p> <p>#2ハモグリバエ類での登録</p>
シロイチモジヨトウ	生育期	<p>・8月下旬頃から発生に注意し、幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 1000倍 アフーム乳剤 1000~2000倍 カスケード乳剤☆ 4000倍 トレボン乳剤☆ 1000倍 ノーモルト乳剤☆ 2000倍 フェニックス顆粒水和剤☆ 2000~4000倍 プレバソンフロアブル5☆ 2000倍 フローバックDF☆ 1000倍</p>	
ハスモンヨトウ	成虫発生初期~発生終期	<p>・フェロディンSLを、トラップに1ha当たり2~4個取り付けて設置する。</p>	
ネギコガ	生育期	<p>・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 アニキ乳剤☆ 1000~2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 プレバソンフロアブル5☆ 2000倍</p>	
ネキリムシ類	播種または植付時	<p>・次の薬剤を土壌表面散布または土壌混和処理する。 カルホス粉剤 6 kg/10 a</p>	
その他の病害虫		白色疫病	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。